

みどりの推進課報告事項(2月)

平成こども塾プログラム

平成31年2月22日現在

No.	日(曜日)		プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	2	土	こどもファーム	年間会員35	15	16	5	
2	2	土	炭の装飾品作り	20	8	7	3	
3	3	日	カリンバ作り	15	9	11	1	
4	9	土	こどもファーム	年間会員35	17	16	5	
5	10	日	暮らしの道具作りと料理教室	年間会員28	19	15	4	
6	11	月祝	キッズ放送隊	年間会員16	7	6	1	
7	16	土	みそ作り	25 (保護者含む)	12	13	1	
8	17	日	ひな人形作り	25	19	20	4	
9	23	土	竹林整備	10				
10	24	日	書道・さし絵講習会	年間会員20+ 一般募集10				

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	1日(金)～7日(木)	北小3年 おこしもの	141	8	
2	8日(金)	3市1町合同支援学級 五平餅作り	24	10	
3	13日(水)～15日(金)	西小3年 おこしもの	85	6	
4	19日(火)～22日(金)	長小2年 餅つき	111	9	

平成30年度平成こども塾事業進捗状況管理表

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 学校連携プログラム実施事業	現在の生活の中では、児童同士や世代を超えたコミュニケーションが難しくなっている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (学校連携プログラム数:全67回)	・チームによる活動を重視し、共同作業・助け合いを行うことによりコミュニケーション能力を高める。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施する。	北、西小3年おこしもの作りは、クラスによってレベルのばらつきはあるものの、講師の話をよく理解し、各班内で協力して作業をすすめることができた。 (西小3年おこしもの作り分については回答待ち) 満足度 97.7%	4月: 事前打ち合わせ 5月: 学校連携プログラムの実施 6月: 学校連携プログラムの実施 7月: 学校連携プログラムの実施 8月: 現職教育研修 9月: 学校連携プログラムの実施 10月: 学校連携プログラムの実施 11月: 学校連携プログラムの実施 12月: 学校連携プログラムの実施 1月: 学校連携プログラムの実施 2月: 学校連携プログラムの実施 3月: 学校連携プログラムの実施												
2 サポータープログラム実施事業	自然体験活動や地域の伝統文化を体験する機会が減っている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (サポート隊委託プログラム、サポーター自主プログラム数:110回)	・体験プログラムを班分け時に工夫し、異年齢交流の促進を図る。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施した。	・参加者にインフルエンザ等の病気をキャンセルが増えている。マスク着用や手洗励行で予防意識の向上に努める。 ・講師に任せきりにならないよう、職員も子どもの観察・見守りを行った。 満足度 96.6%	4月: 世話人会 5月: 世話人会 6月: プログラムの実施 7月: プログラムの実施 8月: プログラムの実施 9月: プログラムの実施 10月: プログラムの実施 11月: プログラムの実施 12月: プログラムの実施 1月: プログラムの実施 2月: プログラムの実施 3月: プログラムの実施												
3 サポート隊員育成事業	サポート隊員の後継者が育っておらず、高齢化が進んでいる。	新規加入者2名を目指す。	・今期からサポート隊に加入した小林稔氏が、積極的に次回以後の「星空のプログラム」を提案してくれている。 ・「里山活動を考えるワークショップ」での勧誘(5回予定) ・ロコミ勧誘の継続	・「里山活動を考えるワークショップ」で参加者をこども塾の活動に勧誘したが、興味を示していただけなかった。 ・原川洋一郎氏が新たにサポート隊メンバーとして参加予定(竹林整備)。	4月: 大学生男子:プログラム内容を検討 5月: サポート隊活動を体験 6月: 里山活動を考えるW.S. 7月: 里山活動を考えるW.S. 8月: 大人プログラム実施 9月: 大人プログラム実施 10月: 大人プログラム実施 11月: 大人プログラム実施 12月: 大人プログラム実施 1月: 大人プログラム実施 2月: 大人プログラム実施 3月: 大人プログラム実施												